

PFASを知ろう！ オープン講座

脱プラサークル

4月18日、東神戸病院でPFASのオープン講座があり、西神から2名参加しました。講師は、東神戸病院の滝本医師です。

資料の中に、兵庫民医連の取り組みとして、2025年5月(西脇市民)と12月(明石・神戸・阪神間の市民)に行った血液検査計86名の血液検査結果について、詳しく書かれてあります。以前の報告と重なりますが、2回の血液検査結果がまとめられています。参加者のうち、米国のガイダンス値(7PFASで20ナノグラム以上)で38名(44.2%)が超えていた。ちなみに健康影響がないと言われる2ナノグラム未満の参加者は一人もいなかった。小泉昭夫京都大学名誉教授のアドバイスとして、「兵庫県の汚染は、汚染源があまり明確でない。産廃や空港、自衛隊駐屯地、また、大阪からの影響など様々な要因が予想される。生活習慣もあるだろう。汚染源の特定は、行政がすることであり、汚染源が特定しないと運動が進められない」という思考に陥ってはならない」という言葉が紹介されています。

当日参加した2名の感想です。

Kさん

PFASの勉強会には、何度か参加していますが、その都度新しい情報を知ることができました「予防原則」という言葉を知りました。欧米でも取り入れられているそうです。日本でも受け入れて規制措置をしてほしいです。「PFASフリーな生活のヒント」の項目の説明もありましたが、例えば化粧品や日用品を買う時、成分表を持ち歩いて買い物します。年と共に目も悪くなっているのとて、疲れます。成分表を見なくても良いように、国に規制してほしいです。

Fさん

PFASという言葉を知ったのは、数年前。瞬く間に身近な問題になった。今回の講座では、健康被害に対しての、海外と日本の対応の違いやPFASフリーな生活への提案などより詳しく教えて頂き大変勉強になりました。



東神戸病院 HP より